

船舶事故等調査報告書

平成22年7月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|                          |  |  |
|--------------------------|--|--|
| 事故等番号                    | 2010神第69号  |  |
| 事故等種類                    | 衝突（岸壁）   |  |
| 発生日時                     | 平成22年2月26日 00時20分ごろ  |  |
| 発生場所                     | 兵庫県阪神港尼崎西宮芦屋区 大関酒造今津灯台から真方位206° 約100m付近<br>(概位 北緯34°43.2′ 東経135°20.7′)                       |  |
| 事故等調査の経過                 | 平成22年4月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。                                 |  |
| 事実情報                     |  |  |
| 船種船名、総トン数<br>船舶番号、船舶所有者等 | 引船 第三十七 <small>かんさい</small> 関西丸、194トン<br>136800、関門港湾建設株式会社                                   |  |
| 乗組員等に関する情報               | 船長、五級海技士（航海）   |  |
| 死傷者等                     | なし   |  |
| 損傷                       | 右舷船首部に凹損及び岸壁のフェンダー取付金具に損傷  |  |
| 事故等の経過                   | 本船は、船長ほか4人が乗り組み、阪神港尼崎西宮芦屋区において、綱取作業に従事する乗組員を下船させるため着岸作業中、平成22年2月26日00時20分ごろ、右舷船首部が岸壁に衝突した。   |  |
| 気象・海象                    | 気象：天気 曇り、風向 西、風力 1<br>海象：潮汐 低潮   |  |
| 分析                       | 乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>気象・海象の関与<br>判明した事項の解析  | なし<br>あり<br>なし<br>本船は、阪神港尼崎西宮芦屋区において着岸作業中、クラッチ操縦の電気系統に誤作動が生じて操船ができなくなった可能性があると考えられる。<br>クラッチ操縦の電気系統に誤作動が生じた状況について電気メーカー等が調査したところ、状況は不明であったが、その後のクラッチ操縦において誤作動は発生していない。 |
| 原因                       | 本事故は、夜間、本船が阪神港尼崎西宮芦屋区において着岸作業中、クラッチ操縦の電気系統に誤作動が生じて操船ができなくなったため、岸壁に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。 |  |